

Saitama



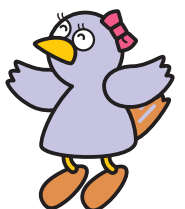
Ladies

keieisha Club



<https://slkc.org/>

埼玉県のマスコット
「コバトン」



会長就任に当たり

健康経営でいい会社を作しましょう!!



サイタマ・レディース経営者クラブ
新会長 大原 佳子

この度、栗田会長の後を引き継ぎ9代目会長に就任しました大原佳子です。

先代の会長からしますとまだまだ未熟ではありますが、会員の皆様のお力を借りて、更にこの会を良くしたいと思っています。また、会員増強に力を入れていた栗田前会長が目標とした100名の会員にあと一歩というところでバトンを頂きましたので、まずは会員数が100名以上になることを今期は目指したいと思っています。

サイタマ・レディース経営者クラブは他の団体の下部組織ではなく、県直轄で運営をしている他に類をみない組織ですし、会員の皆様は業種も違い、年齢も違い、社員数も違うという中で、お互いが学びを深め合っている組織だと思っています。

そのような会で、私のテーマは『健康経営』です。

健康経営には代表者としての健康と会社組織としての健康があると思います。

代表者としての健康とは心身ともに健康という意味で、自分自身が健康でないと何事にも前向きになれないのではないかと思いますし、特に一人で事業をされている方は、自分が倒れた時のことを考えると時間に追われている中でも、何をしなければならぬかが見えてくると考えます。

また、会社組織の健康経営とは黒字化であり、永続であると考えています。黒字化のためには、従業員の働き方改革による雇用の確保やDX化でしょうか。ここ数年、特に採用は厳しさがありますが、その中でも勝ち組になるようなセミナーの開催が出来たらと思っていますし、中小企業であってもDX化出来るものはあるはずです。

永続とは、事業継承とBCPと考えます。事業継承は私にとってもまだまだ中ですし、日本の中小企業の経営者の平均年齢は60歳を超えていると言われていて身近な問題だと思います。そしてBCPの策定で自然災害やハッカー、不祥事といったリスクから会社をどのように守るのか。これは大野知事が得意とする分野だと思っていますので、今回の八潮の道路陥没という思いもよらない状況に対して、迅速にそして、素晴らしい対策も含めて学ぶ機会があったら良いなと思います。

どちらの課題も中小零細企業にとっては大変ハードルが高いとは思いますが、それぞれの委員会が知恵を出し合い、テーマに沿ったセミナーを開催していただき、それを会員の皆様を持ち帰って、自社をより良いものにしていくお手伝い出来ればと考えています。

会員の皆様の事業が益々発展されますことを祈念して、会長挨拶とさせていただきます。

夢をつなぎ、未来を創るバトンをつなぐ



サイタマ・レディース経営者クラブ
前会長 栗田美和子

このたび、サイタマ・レディース経営者クラブ会長の任を4年間務め終え、退任することとなりました。2021年、コロナ禍の余波が残るなかで会長職をお預かりし、不安と希望が交錯する船出でしたが、皆さまの温かいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

この4年間は、まさに激動の時代でした。社会の価値観や働き方が大きく変わり、私たち女性経営者も柔軟な対応力と新たな発想力が求められました。会の活動も、従来の枠組みを超え、オンラインやハイブリッド形式を積極的に取り入れるなど、時代に即した新しい挑戦を重ねてまいりました。どんな困難な状況でも、会員の皆さまが前向きに学び合い、支え合い、夢を語り合う姿に、私は何度も勇気と希望をもらいました。

また、大野知事が掲げる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けて、私たち女性経営者が果たすべき役割は、これまで以上に大きくなっています。多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きられる社会を目指して、クラブとしても地域経済や社会の発展に貢献できるよう力を尽くしてまいりました。会員数100名という目標に挑戦し、広報や新規入会の促進にも全力を注いできましたが、目標達成には至らず、私自身の力不足を痛感しております。それでも、現在約100名の会員が在籍し、異業種の女性経営者・幹部が互いに刺激し合

い、高め合う場として、クラブは確かな歩みを続けています。

サイタマ・レディース経営者クラブは、1987年の設立以来、埼玉県と女性経営者が手を携えて歩み続けてきた、全国でも唯一無二の組織です。歴代会長や先輩方が築き上げてきた伝統とネットワークのバトンを次の世代へつなぐことができたのは、会員の皆さま一人ひとりの情熱と行動力のおかげです。これからは一会員として、引き続きクラブの発展と「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に微力ながら貢献してまいります。新しいリーダーのもと、サイタマ・レディース経営者クラブがさらに飛躍し、皆さまが夢と誇りを胸に、未来を切り拓いていかれることを心より願っております。

これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。夢をつなぎバトンに思い込め、退任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

研修委員セミナー 先輩から学ぼう 2024

講師 ロータリー株式会社 代表取締役 原 恵美子氏

第1部 講演会

第2部 グループワーク（先輩と話そう！）

研修委員会では2024年4月9日、「先輩から学ぼう2024」を開催しました。

今回は、副会長であるロータリー株式会社 原恵美子会員を講師に、創業からこれまで苦労されたこと、会社が大きくなり乗り越えてきたこと、また大きな転換点である事業承継についてお話しいただきました。

■創業から事業承継へ

原会員より、創業からの経緯と草加市の工業団地へ移転、M & Aについてお話しいただきました。（株）ロータリーは、草加市にて文房具、シンボルマーク、模型、医用品、釣り具など様々な製品を製造しています。

原会員は1984年に入社し、1996年に役員就任、2002年にISO9001を取得後、同年に代表取締役を就任されました。2021年頃から事業承継やM & Aなどの選択を考えはじめ、65歳までに会社の行く末を考えたいとのことから、M & Aの話を進められました。2023年に工場を移転、2024年にはM & Aにて合併先の役員を迎えています。

■ものづくりと組織づくり

同社はプラスチックの射出成型を展開し、マーカー類などをはじめ様々な製品に使用されています。現在では、付加価値を高めるためにバイオマスプラスチックを使用した製品にも取り組んでおり、卵の殻を活用した製品開発のほか、埼玉県のカンパニーにも参加されています。

2002年以降、勝てるチーム作り（人材確保）、経営円滑化のための仕組みづくりとしてISO品質システムを導入し、管理会計を強化すると同時に、マンダラシートを使った目標作成に取り組みました。マンダラシートは、野球の大谷翔平選手も取り入れているメソッドで、社内研修として再度社員の方に取り組み、



日時 令和6年4月9日（火） 15:00～17:00

場所 新都心ビジネス交流プラザ 4F 会議室

担当 研修委員会

それをベースに中期計画を策定されたそうです。

また従業員に会社の数値を見せること、率ではなく「実



際の金額」で見せることで、従業員の数値感覚を持てるようになったそうです。基本方針とともに、基づいて品質方針を明確し、決めてやりきるなど、それぞれの行動を明確にされています。企業の人材育成や目標を立てる上でも参考になるポイントです。

原会員は「ISOは経営に役立った」と感じていらっしゃる、やるべきことが明確になったとのこと。このほか、女性が活躍する職場づくりの一つとして、生理について県の東部地域振興センターの方からの協力を得て講演するなど、理解が遅れている女性の体と職場づくりへの情報共有を行っていらっしゃいます。また異業種交流会やレディース経営者クラブへの参加から女性活躍の場づくりを考えるきっかけとなったそうです。

第二部では、人材採用・育成に関する情報共有を行いました。組織運営と人材に関して、積極的な意見交換ができ、有意義な会となりました。

近藤美恵子経営コンサルティング事務所 近藤美恵子



令和 6 年度 定時総会・講演会・懇談会

講演会 演題 女性経営者にお伝えしたい『命銭経営』とは

講師 株式会社アテナソリューション 代表取締役 立石裕明氏



株式会社アテナソリューションの代表取締役立石裕明様をお招きし、「女性経営者にお伝えしたい『命銭経営』とは」をテーマにお話を伺いました。

淡路島の温泉旅館の3代目として生まれ、「事業継承とはオヤジの借金が



自分の借金になること」として事業を継承されました。その後、阪神淡路大震災に被災、その日から売り上げがなくなるご経験をされています。「終戦直後よりましだ」とのお母様のお言葉を励みに事業再生を実体験され、株式公開を目指したものの上場に失敗、倒産を経験された立石様のリアルなお話を伺うことができました。

『小規模事業者持続化補助金』発案者として、日本は世界最大の中小企業・小規模事業者支援国家であることについてのお話もあり、支援の有難さを再認識できました。

また、経営していく中で最優先事項としての『命銭経営』について、「経営者と家族の給料をしっかりと



確保すること」、つまり命銭を確保し、資金繰り表を毎月作成することの大切さを伝えていた

<定時総会>

日時 令和6年5月27日(月) 15:00～15:30

場所 男女共同参画推進センター
With You さいたま 4F セミナー室

担当 総務委員会

<講演会>

日時 令和6年5月27日(月) 16:00～17:30

場所 ホテルブリランテ武蔵野 2F エメラルド

担当 研修委員会

<懇談会>

日時 令和6年5月27日(月) 18:00～20:00

場所 ホテルブリランテ武蔵野 2F サファイア

担当 総務委員会

きました。

儲かっている経営者は経営を数字で語り、書類が整理されていて、片付いている。苦しい経営者は経営を数字で語れず、書類が整理されていなく、散らかっているとのこと、参考にさせていただきたいと思います。また、作るばかりでなく「売る努力」の大切さ、商品を『高く』売るための工夫についてのお話もありました。

どん底を経験され、いくつもの講演、研修をされる中で多くの企業の再生にかかわってきた立石様ならではの話を伺うことができました。

水戸証券株式会社 川口支店 金子真由美



石川県能登半島七尾研修旅行

能登半島地震の現状を把握し自社のBCPについて考える視察研修旅行先でのセミナー

テーマ「地震」

講師 株式会社丸一観光 代表取締役社長 木下徳泰氏

日時 令和6年6月17日～18日
担当 企画交流委員会

令和6年1月1日に発生した地震から半年が経過しました。このたび、金融機関の幹部職女性4名の皆様とともに、能登半島七尾への研修旅行を実施いたしました。

現地の状況については、能登信用金庫様のご協力のもと、株式会社丸一観光 代表取締役社長 木下徳泰様より、復興に向けた取り組みや「復興支援プロジェクト いやさか」(<https://nrn-iyasaka.net/>)について、お話を伺う機会をいただきました。

また、八幡グループの久保圭子社長からは、食事処「多根さ」にてご講話をいただきました。お話の中で、未だ下水道が使用できない地域があることを知り、インフラ復旧の遅れが地域生活に深刻な影響を与えている現状を実感いたしました。

輪島塗「しおやす」で



は、店舗が半壊しながらも、明るく接客や実演に励む姿に触れ、力強さと前向きな姿勢に深く感銘を受けました。

雅さと苦しみが交錯する風景に、シャッターを切るたびにため息が漏れ、被災地の写真を撮ることに対して申し訳ない気持ちが込み上げました。

現地で活躍される女性の皆様の行動力とパワーには、学ぶべきことが多くありました。

主な行程
大宮駅【南改札】
↓
金沢駅
↓
輪島・朝市通り視察
↓
ホテル金沢着
↓
ホテル金沢発
↓
和倉温泉街視察など
↓
金沢駅発
↓
大宮駅着



川合運輸株式会社 川合恵子



2024 SAITMA Smile Women ピッチ ファイナルピッチ

女性起業家を支援し、国内外で活躍する人材を埼玉から輩出することを目的とした、埼玉県主催のビジネスプランコンテスト。2016年から毎年開催され、今年で9回目を迎えました。社会をより良くしようという思いが伝わるビジネスプラン・プレゼンテーションでした。

- 最優秀賞・オーディエンス賞
Sushi Making 101 山田 香代子氏
- 優秀賞
結家 (MUSUBIYA) 大室 愛氏
- ビジネスアイデア賞
かかりつけ看護師パディ 皆島 悦子氏
- 審査員特別賞 (埼玉中小企業家同友会賞)・オーディエンス賞
ツナグッド 不破千也子氏
- 審査員特別賞 (サイタマ・レディーズ経営者クラブ賞)
PROTON (プロトン) 落合 陽子氏
- 審査員特別賞 (埼玉ニュービジネス協議会賞)
キャンパナ株式会社 妹尾 早南氏

日時 令和6年11月16日(土) 13:30～16:15
会場 ソニックシティホール 4F 国際会議室
主催 埼玉県
共催 公益財団法人埼玉県産業振興公社 (創業・ベンチャー支援センター埼玉)、公益財団法人埼玉県産業文化センター、一般社団法人埼玉中小企業家同友会 女性経営者クラブ・ファミ、サイタマ・レディーズ経営者クラブ、一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会
後援 株式会社日本政策金融公庫、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫、飯能信用金庫、一般社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会



関東図書株式会社 相木明子

経営力アップ 埼玉ウーマンズカフェ

講演テーマ 経営者として知っておきたい「性の多様性」

講師 埼玉大学 ダイバーシティ推進センター准教授 渡辺大輔氏

■埼玉県人権・男女共同参画課 LGBTQ 担当からのお知らせ

■質疑応答・交流タイム (30 分程度)

今回の埼玉ウーマンズカフェは、12回目の開催となり、48名の経営者、経営幹部等集い、会社経営について学びと交流を深めました。栗田会長から「現状を知ることから学ぶ」と挨拶があり、渡辺氏のアカデミックな話や具体的な現状などワークを交えながらの講演を聞き、性の多様性に関する埼玉県の動きや取組みのお話を頂き、その後に各グループに分かれディスカッション、発表を行い、最後に武蔵野銀行 地域サポート部 地域価値創造室 田中部長よりご挨拶を頂き、終了となりました。

■渡辺 大輔氏 (埼玉大学 ダイバーシティ推進センター准教授・博士 教育学) 講演より

LGBTQ+について、性の多様性をわかりやすく図式化されたものの一部が示されました。一部でも25



種類に分類されていました。実際はもっと複雑に細分化されるとのことでした。この性の多様化が近年、多様化したのではなく、もともと多様だったものが可視化されただけのことです。

数が多いことが「普通」で、「普通」でいることが特権となり、「普通」が、生きやすい社会が出来上がり、普通と違う少数のマイノリティは、生きにくい社会になっているとのことでした。また、私たちの思考プロセスに大きく影響しているものとして、思い込み（バイアス）があり、例えば、何気に言われる「男らしい」「女らしい」という言葉に縛られて、本来の自分を出せない社会になっており、これらのバイアスがある中であら



日時 令和6年7月16日（火） 15:00～17:00

場所 M,s SQUARE

（武蔵野銀行本社2階 地域創生スペース）

主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、武蔵野銀行
後援 埼玉県、（一社）埼玉県中小企業家同友会（女性経営者クラブ・ファム）、（公財）埼玉県産業振興公社、さいたま商工会議所（女性起業家ネットワーク CCS）

担当 地域交流委員会

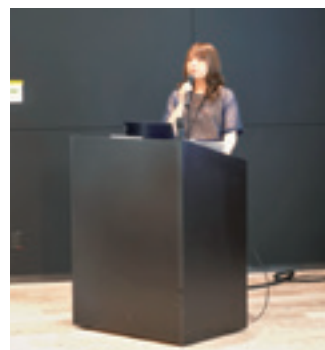


ゆる場・システム（個人、家庭、学校、職場、文化、社会）が作られてきました。思い込みで作った社会システムを作り直さなければならないと話されました。

■高園 みや比 様（埼玉県人権・男女共同参画課 LGBTQ担当）より

令和元年からの「性の多様性に関する埼玉県の動きについて」お話を頂きました。

現在、埼玉県では、企業向け事業として研修や相談窓口。指導制度（埼玉県アライチャレンジ企業登録制度）のご紹介がありました。



参加者から、「漠然としていたことを知ること、色々と考えさせられた」、「自分に思い込み（アンコンシャスバイアス）があることに気づいた」等々の意見があり、有意義な学びのあるウーマンズカフェでした。

ミライフウマン 岩見真里子

サイタマ・レディース経営者クラブセミナー

演題 色の魔法 色の効果的な使い方 ～印象力アップは売上アップへ～

講師 Best サロン 森谷佐智美氏

(カラーリスト、ネイリスト、メイクアップアーティスト、エステティシャン)

「ベストサロンの森谷佐智美様を講師にお招きし、「自分を最大限に引き出す色の使い方」についてご講演をいただきました。



講演の前半では、色についての知識を体系的に。後半では、実践を通してのご説明が行われました。

人によって生まれ持った身体の色（肌の色、髪の色、目の色）が違う様に、似合う色もそれぞれ異なります。より魅力的に見せてくれる色（パーソナルカラー）を発見する方法に付いて、小松さんにモデルになって頂き、似合う色を深掘するべく、色見本の布を身体にあてていきます。

似合う色を身に付けると顔色がよく活き活きとした表情に見え、反対に似合わない色だと一瞬にし



日時 令和6年9月10日（火） 15:00～17:00

場所 飯能信用金庫さいたま中央支店 3F

主催 サイタマ・レディース経営者クラブ

共催 飯能信用金庫

後援 埼玉県、（公財）埼玉県産業振興公社、（一社）埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファム、埼玉県生産本部

担当 研修部会

て元気が無い疲れた印象を受けるのです。

これこそがパーソナルカラー診断の醍醐味なのだと実感出来ました。

森谷様は講演の冒頭に、女性経営者に（色の魔法、色の効果的な使い方、色の魔力）についてお伝えしたいと仰られたましたが、それらが具現化された講演となりました。

私たちもパーソナルカラーを身に着け、印象力をアップし売上増進に繋げたいものです。

東和ガス工業株式会社 荒井保子



埼玉県知事表敬訪問



埼玉県大野知事へ表敬訪問を行いました。栗田会長の挨拶に始まりました。岡村准教授より現在の人員不足の状況、対応策などの総括がありました。続けて、栗田会長から大野知事へ「知事への提言」をお渡ししました。この「知事への提言」は「女性経営者の意見を知事表敬訪問の際にお届けできないか」という想いから始まり、毎年継続して実施され、今年で5年目になります。

日時 令和6年10月25日（金）

場所 埼玉県庁 庁議室



その後、総括と「知事への提言」を受けて、この提言を継続していくことへの意義について、また、今後の埼玉県における産業に対する施策、取り組み等についてお話がありました。



関東図書株式会社 相木明子

サイタマ・レディース経営者クラブ×埼玉大学 コラボセミナー

演題 夢ある埼玉に新しい希望！ 私が社長として頑張る理由^{わけ}

講師 社会福祉法人えんむすび 代表 柳 寿美恵

第7回目となる埼玉大学とのコラボセミナーに、今年度も多くの会員が参加しました。

■第一部

今回は、サイタマ・レディース経営者クラブの会員である柳寿美恵氏に介護・福祉業界でのご自身の歩み、現場での経験、そこから得た気付きなどをお話いただきました。



柳さんは平成19年に福祉の受け皿が少ない緑区で事業を始めたのですが、はじめたもの

の利用者0名。職員を抱えているが、売上はない状態だったそうです。そこで、他で断られるような「困ったちゃん」を受け入れていきました。^く「うるさく、意地悪で細かい筋ジストロフィー症デュシェンヌ型の利用者や脊髄第3番目損傷で全く動くことができない利用者など、困難事例を経験するうちに、介護・福祉業界では「書籍から学ぶことのできないことが、現場に入れば、お金を貰って学べる！」という気づきがあったそうです。

「困ったちゃん」を受け入れているうち、平成21年10月に運命の出会いがありました。低酸素脳症の帆花（ほのか）ちゃんとの出会いです。帆花ちゃんは自発呼吸のない、人工呼吸器をつけている女の子で、ご両親は24時間介護をされていました。柳さん自身、最初帆花ちゃんに出会った時には「短命かな」と感じられたそうです。帆花ちゃんのケアをする中で、介護福祉サービスにはできるできないの線引きが多いことに気づき、その線引き解消のため役所との交渉を開始しました。役所からは門前払いをされ、壁の大きさを感じながらも、その一方で困っている人が多く存在することを実感されたそうです。

「困っている人が利用できる施設をつくろう。」と新たな施設を作った柳さんの原動力は、困った人の存在でした。

日時 令和6年10月11日（金） 13:00～16:10

場所 埼玉大学

担当 地域交流委員会

私は「柳さんは、何て愛情深い方なんだろう。利用者さんへの愛が柳さんを動かしている。」と感じました。お話の終盤に、施設の利用者である子供たちを写真で紹介し、「かわいいですね？」と学生たちに問いかける柳さんの顔は愛情にあふれていました。

帆花ちゃんは現在、高校2年生で、体も成長しているそうです。「発語はないが、呼吸器から漏れる音のトーンの変化で家族やヘルパーは気持ちを感じとっている。」という柳さんのお話から、「人間の尊厳とは何だろう。」「生きるとは何だろう。」と考えさせられました。

■第二部

「人の尊厳」をテーマに大学生と経営者でグループディスカッションを行いました。

各グループでは「便の捉え方」について、「家族の介護と、仕事で便の処理をすることに違いはあるか。」「家族でも、子供の便と親の便で感じ方が異なるか。」「違いはなぜ生まれるか。」などについて意見を交わしながら、そこから「人の尊厳を守る社会のあり方として、今何が欠けているのか」という問いについても議論が深まりました。

ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）のインクルージョン実現においては、人の価値観から生み出される障壁があることを気づかされる貴重な機会となりました。



りか社労士事務所 沖津利可

埼玉県内女性トップ わいわいがやがや交流会

＜第一部＞（１）講演会 18:00～19:00

講 師 特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会
代表理事・医師 名知仁子氏

（２）グループディスカッション 19:00～19:30

＜第二部＞ 交流会 19:30～20:30

このたび、サイタマ・レディース経営者クラブでは、埼玉県庁の女性管理職の皆さまとともに「女性トップ わいわいがやがや交流会」を開催いたしました。本交流会は、女性経営者と行政職のリーダーが一堂に会し、産官連携によるネットワークの構築と、女性活躍推進に向けた意見交換を目的とするものです。

女性経営者や女性管理職の数は確実に増えていますが、日本のジェンダーギャップ指数は146か国中118位。まだまだ経済等の分野での女性参画は道半ばです。

産官での女性トップリーダーが交流する中で、お互いに新しい解決の道を探り、ネットワークを広げ、多様な視点から女性活躍について考える機会としています。

第一部では、特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会 代表理事・医師 名知仁子（なち・さとこ）氏をお迎えし、ご講演をいただきました。

名知氏は、ミャンマーの人々が自立した生活を送れるよう、現地でさまざまな課題と戦いながら、命をかけて人生をかけて支援を行っている医師です。無医村での巡回診療、有機農業指導、保健衛生教育などを通じて“循環型の自立支援”を続けておられます。

講演では、「何のために働くのか」「共生とは何か」といった問いを深めるため、参加者一人ひとりに紙が配られ、自らの言葉で考えを書き出すワークが行われました。名知氏の語りと参加者の内省が交差するようなセミナーは、自身の価値観や生き方を見つめ直す貴重な時間となりました。



ご講演ではそのほか、ご自身がなぜミャンマー支援に命を使っているのか、5歳まで生きることが困難な



日時 令和6年11月12日（火） 18:00～20:30
場所 埼玉県知事公館大会議室
担当 会長副会長

子どもたちの現状、クーデター後の混乱、そして近年の内戦や地震といった深刻な情勢のなかでも「前を向くことを忘れずに」ひたむきに支援を続ける姿勢が語られました。



さらに、現在も進行中のご自身の病気と向き合いながら、日本での治療を受けつつも現地支援を絶やさず続けているという、並々ならぬ行動力と覚悟に、参加者からは深い感銘の声が寄せられました。

名知氏の経験や苦勞から湧き出した言葉には重みと力があり、参加者の胸に突き刺さりました。

「自分の最期を想像した時に“ああ、国際医療をやっておけばよかった”と言っている自分が見えた」というお話からは、使命感に突き動かされて生きる姿のカッコよさがにじみ出ており、産官の立場を超えて、人としての生き方にまで影響を与えるものでした。

NPO 法人が循環型支援の一環として行っているコーヒー作りも紹介され、会場ではミャンマー産のスペシャルティコーヒーが販売されました。こちらも完売するほどの大好評でした。

講演のあとは「わいわいがやがや」の名の通り、食事をしながら様々な意見交換が行われ、産官双方の目線による課題解決に向けての議論も活発に交わされました。

会場が知事公館だったこともあり、ご多忙の大野元裕埼玉県知事も駆けつけてくださり、当日は偶然にも知事のお誕生日。参加者全員でハッピーバースデーを歌い、和やかなムードに包まれました。

これからも産官連携し、埼玉県の産業発展、より女性が活躍できる社会づくりを目指してまいります。



アトリエつむぎ 田島由衣香

サイタマ・レディースセミナー

演題 いのち輝く未来社会のデザイン「大阪・関西万博に行こう」

講師 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 担当局長（中小企業・地域連携）
堺井啓公（サカイ ヨシマサ）氏



今回のサイタマ・レディースセミナーは、堺井氏をお招きし、国際博覧会（万博）の定義、歴史、そして4月13日（日）から開幕される

世界最大級のイベント「大阪・関西万博」について、臨場感あふれる動画、画像と堺井氏の楽しいお話からワクワク感が高まる内容でした。昨今の世界は、コロナ禍、ウクライナ危機や中東紛争、気候変動や環境問題等による、いのちの危機の時代に直面しています。今回の万博を、いのちに向き合う世界初の万博と位置付けたことは、非常に重要であると実感します。

50年前の1970年開催の大阪万博では、ファーストフード（ケンタッキーフライドチキン）の日本初上陸や万博を契機に全国的に認知された動く歩道、日本で初の試みとなった電気自動車等があったとのこと。また「月の石」の展示も話題になりました。今回の「大阪・関西万博」では、各国のSDGsの達成に向けた優れた取り組みや食の未来、空飛ぶクルマ等、未来社会の創造が満載されています。また、「火星の石」が展示されているとのこと。これは2000年11月に南極観測越冬隊による昭和基地近傍で採取された火星隕石で世界最大級の大きさとのこと。今回の万博も、最先端の技術やシステムを取り入れるということで、どんな未来社会を体験できるのか、開幕が待ち遠しい限りです。

■大阪・関西万博の概要

*名称

2025 年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）

*テーマ いのち輝く未来社会のデザイン

*サブテーマ

Saving Lives（いのちを救う）

Empowering Lives（いのちに力を与える）

Connecting Lives（いのちをつなぐ）

日時 令和7年1月14日（火） 15:00～17:00
場所 新都心ビジネス交流プラザ
主催 サイタマ・レディース経営者クラブ
担当 地域交流委員会

*コンセプト

People's Living Lab（未来社会の実験場）

*会場 夢洲（ゆめしま）（大阪市此花区）

*開催期間

2025 年 4 月 13 日（日）～ 10 月 13 日（月）

*想定来場者数 2,820 万人

■大阪・関西万博の魅力・みどころの一部をご紹介します

*会場デザイン

四方を海に囲まれたロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」を印象強く感じられるデザイン。

*公式参加者

参加表明国

158 カ国 9 国際機関（2024 年 12 月 27 日）

パビリオン

公式参加者（国や国際機関）は、それぞれの立場から SDGs 達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体で SDGs が達成された未来の姿を描く。

*未来社会

未来を感じさせる次世代技術・社会システムの実証

ショーケース事業（一例）→自動翻訳システム、バー

チャル会場、「水」と「空気」のスペクタクルショー、水素サプライチェーンモデル、未来のくらし（食・文化・ヘルスケア）等



ミライフウマン 岩見真里子

令和6年度 新春講演会・懇談会

日時 令和7年2月5日(水)
16:00～17:30
場所 ホテルブリランテ武蔵野 2F

演題 演題 「科学の楽しさと大切さ、そしてそれを実現するプロジェクト運営と人材」

講師 東京大学卓越教授(宇宙線研究所) 2015年ノーベル物理学賞受賞 梶田隆章氏



2月5日の新春講演会では、東京大学卓越教授(宇宙線研究所)の梶田隆章先生をお招きし、「科学の楽しさと大切さ、そしてそれを実現するプロジェクト運営と人材」をテーマに講演されました。

梶田隆章先生は、「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、2015年にノーベル物理学賞を受賞。現在は、大型低温重力波望遠鏡KAGRAのリーダーも務められています。

1. ニュートリノって何? カミオカンデ研究までの経緯

■素粒子とは、物質を構成する最も基本的な単位で、それ以上分けることができない粒子のことを指します。素粒子には、物質そのものを構成する粒子や、力を伝えるための粒子など、様々な種類があり、宇宙に存在するすべての物質や現象の根本を説明する役割を担っています。

■ニュートリノとは、その「素粒子の一種」で、「電気を帯びていない、小さい」という意味があります。宇宙から常に私たちの住んでいる地球に降り注いでいることが分かっています。ニュートリノは、宇宙の誕生をはじめ、超新星爆発、太陽は星の中、地球の中、原子炉、バナナなど、ありとあらゆるところから生まれます。非常に小さく、通過してしまうそうですが、飛んでいるうちに別の形に変わることもあります。それを「ニュートリノ振動」と呼びます。

梶田先生は、岐阜県飛騨市の神岡鉱山の地下1000メートルに設置された実験装置「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を使った実験に参画されています。1970年に発表された新しい素粒子理論により、「原子核内にある陽子は、10の30乗年で崩壊する」と予言されました。一体何年なのか、気が遠くなりそうですが、この「陽子の崩壊」を検出するのがカミオカンデの実験でした。当初、光検出器を使って検証が続けられました。

しかしながら陽子が壊れる信号、陽子の寿命が見えなかったことから、『太陽からのニュートリノを検出する』実験に切り替えました。ニュートリノの観測に向けた改造は、「半信半疑でありながら、楽しみながら」続けられたそうです。



その後、1987年2月に起きた400年ぶりの超新星爆発の影響で、太陽系以外の星から二次電子が計測されたことで、ニュートリノが飛んできていることが分かってきました。

2. カミオカンデの成果、プロジェクト運営と人材育成

カミオカンデが成果を上げたことは「運が良かった」ことにもありますが、リーダーの強い思い、先を見る目があったこと、カミオカンデ実験の大切さをリーダーが共有できたことにあるとのことでした。

プロジェクト運営について、小柴昌俊先生(ノーベル物理学賞)から「仕事を任せる、任せたら最後まで任せること」とおっしゃられていました。最終的にカミオカンデの研究チームは「仁科記念賞」を主要メンバーは受賞するなど、カミオカンデの実験プロジェクトを通じて人材は育ったのだと思います。

3. スーパーカミオカンデの運営、事故とその対応

カミオカンデの成功の後、1995年頃より「スーパーカミオカンデ」の研究が開始されました。スーパーカミオカンデは国が支援して建てられた施設です。日本・アメリカの共同研究からスタートしましたが、現在では国内外から230人が集まり、「大気ニュートリノ」の実験を開始しました。研究が大きく進んだ理由として、ニュートリノ研究に強い興味を持った研究者がチームで統計的に研究を推進したことによりです。

一方、スーパーカミオカンデでは事故が発生します。スーパーカミオカンデの修理を終えて純水をタンクに注入したところ、一瞬で光電子倍增管の半数以上が割れてしまいました。事故後、すぐに戸塚先生が「測地器を再建する。ここで議論の余地がない」との決断を下します。リーダーは即断即決で進めることが大事だ

と思います。

現在はハイパーカミオカンデなど、次世代の研究施設も作られています。研究にはリーダーの決断と人材育成がカギとなっています。

4. KAGRAプロジェクトの国際協力運営、能登半島震災からの復活

KAGRAプロジェクトは、宇宙に響き渡っていると考えられている“重力波”という波動現象を捉えることを目指したプロジェクトです。論文の著者数160名、9か国、関連者も含めて400名が在籍しています。国際共同研究チームの会議に集まったメンバーがいると組織運営が難しいので、組織作りが大事です。気になるのは若い人が夢を持って活躍できるかどうかのカギである。

本研究では、重力波測定器の協力が重要です。世界に1台あってもあまり役に立たないので、世界中で協力して同時に観測して、重力波がどこから来たかを計

測する必要があります。世界中を含めると約2000人を超えるプロジェクトとなるために、各コクからの協力が重要です。

しかし能登半島地震で機械が損傷したために、修理に1年費やし、ようやくレーザー観測が始められた段階でもあります。

5. 自然科学研究と人材育成

自然科学は人類の知の地平線を広げる仕事でもあります。研究の発展のためには、いかに任せていくかがカギとなります。一方で、科学研究を通じて、リーダーの先読み、決断のスピード、若い研究者をいかに育てていくかが大事です。基本的には研究の楽しさ、知恵が育ってほしいと願っています。



近藤美恵子経営コンサルティング事務所 近藤美恵子

女性経営者等に対するアンケート調査概要

【連携・協力】

一般社団法人中小企業家同友会女性クラブ・ファム

一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会

【調査概要】

(1) 方法 オンライン調査。有意抽出。匿名での回答。回答は選択方式及び自由記述式。

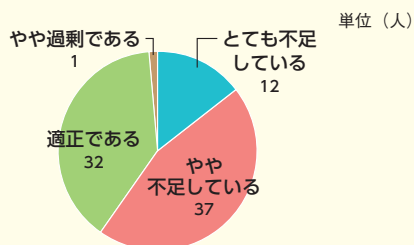
(2) 対象 令和6年8月1日サイタマ・レディーズ経営者クラブ及び一般社団法人中小企業家同友会女性

クラブ・ファム並びに一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会に在籍する女性経営者等 229 名

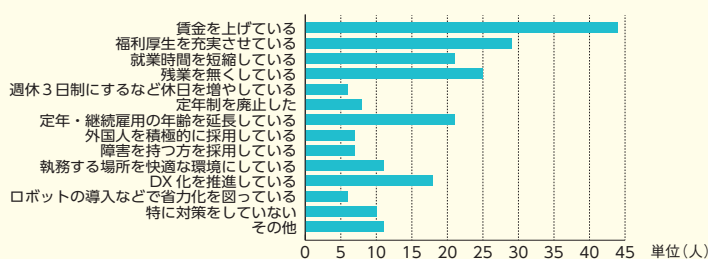
(3) 結果 回答者 82 名 (回答率 35%)

今回のアンケート調査では、県の施策のうち、人手不足に対する支援の分野に焦点を当て、人手不足の実態・課題、その対応策、取り組み、必要とする支援等について実施されました。

Q1. あなたの会社の正社員の過不足状況を教えてください。

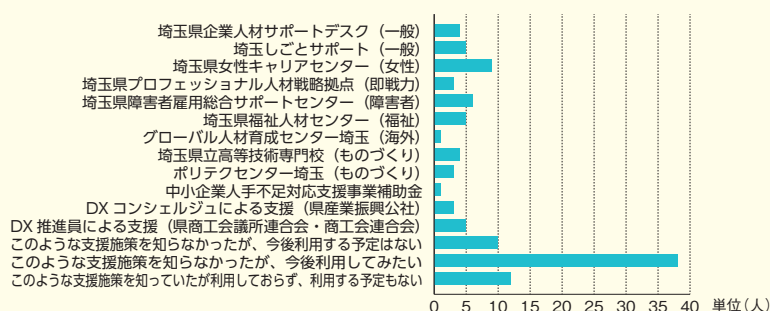


Q5. 人材を確保するための対策、または人手不足解消のための対策としてどのようなこと対策をしていますか。(複数回答可)



Q7. 埼玉県では、中小企業の人手不足対応を支援するため、以下の事業を行っています。

利用した又は利用する予定のものに全てチェックしてください。(複数回答可)



※アンケート結果は一部抜粋

女性経営者セミナー

テーマ 国・県の補助事業について

講師 公益財団法人埼玉県産業振興公社／埼玉県よろず支援拠点 中小企業診断士 近藤美恵子氏



研修委員会では2025年3月11日、「国・県の補助事業について」を開催しました。

今回は、研修委員でもあり、埼玉県よろず支援拠点コーディネーターでもある近藤美恵子会員を講師に、今知っておきたい、今後注目しておきたい補助事業についてお話しいただきました。また埼玉県産業労働部所管の主な補助金のほか、(株)右門 町田明美会員より、補助事業を活用し経営を向上させた事例についてお話しいただきました。

■埼玉県よろず支援拠点より 国の補助事業について

近藤会員より、補助金とは何か、令和6年度補正予算の概要、現段階で公表されている補助金、補助事業活用にあたり考えておくことなどについて講演されました。

今の中小企業は、人手不足等の構造変化に加え、働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入など複数年度にわたり、相次ぐ制度変更に対応することが必要となっていることから、それに合わせた設備投資、IT導入、販路開拓、事業承継等がテーマとなっています。ものづくり補助金や小規模事業者持続化補助金などが発表されています。

補助事業は賃金の引き上げが求められるものもありますので、賃金引上げが可能かどうか、検討すべきです。

一方で補助金は、補助金に合わせるのではなく、今の事業課題の洗い出し、お客様から寄せられるニーズ・要望が何か、課題をクリアすることで、企業(従業員)、

日時 令和7年3月11日(火) 15:00～17:00

場所 新都心ビジネス交流プラザ 4F

担当 研修委員会

お客様にどのような+αを提供できるか、など考えるべきことがたくさんあります。

■埼玉県の補助事業について～埼玉県産業労働部所管の主な補助金～

埼玉県産業労働部の各所管の方より、今年度を実施された補助事業のご案内等がありました。年度末のタイミングでもあることから、4月以降の埼玉県からの発表に注目していただきたいとのことでした。

■事例発表 補助事業を活用し経営を向上させた事例「(株)右門 町田明美会員」

町田会員は、事業再構築補助金などをはじめ、補助事業を活用した経験についてお話しいただきました。商工会議所への相談を通じて、事業計画を作成することで、何に取り組むのかを明確にしていきました。また補助事業は、税金がベースであり報告が求められるので、報告までが大変であったことをお話しいただきました。

補助金はあくまで国の税金であるので、企業としてどのような事業プランがあるのか作成したうえで、チャレンジしていただきたいと思います。

近藤美恵子経営コンサルティング事務所 近藤美恵子



新入会員紹介 2024.4～2025.3

※五十音順

伊藤 真理子

ますいいステーション株式会社 役員

業種 建築業

植竹 知子

株式会社ピーアイピー 代表取締役

業種 印刷・出版業

奥寺 優子

株式会社 彩乃花リフォーム 代表取締役社長

業種 建築リフォーム業

鈴木 瑠美子

Happy Smile Life 代表

業種 小売業・オーダーメイドウィッグ販売

萩原 かおり

産前産後ケア専門かおりビューティサロン 代表

業種 産前産後ケア専門整体・セラピスト養成

藤根 路子

(株) magokoro 代表取締役

業種 交通誘導警備、雑踏警備

松本 智保子

SorairoWedding フリーランスウェディングプランナー

業種 結婚式・人生儀礼イベントプロデュース

山本 紀与

Lino Works 代表

業種 広報 集客 事務代行

伊藤 美奈

株式会社 イトウ・フィッシャーズ

業種 卸業・コンサルタント業

小川 範子

央城社労士事務所 代表

業種 助成金、年金手続き、就業規則作成

落合 陽子

PROTON (プロトン) 代表

業種 産前産後の女性同士の情報共有、対話の場の開催

竹花 真弓

トンボ株式会社 代表取締役

業種 卸売業 (機械工具)

羽鳥 絢子

SunBirdMusic 代表

業種 ミュージックスクール、ライブ、イベント企画運営、音楽制作

町田 治子

株式会社 都ローラー工業 取締役

業種 工業用ロール加工・製造・DLC コーティング加工

皆島 悦子

かかりつけ看護師バディ 代表

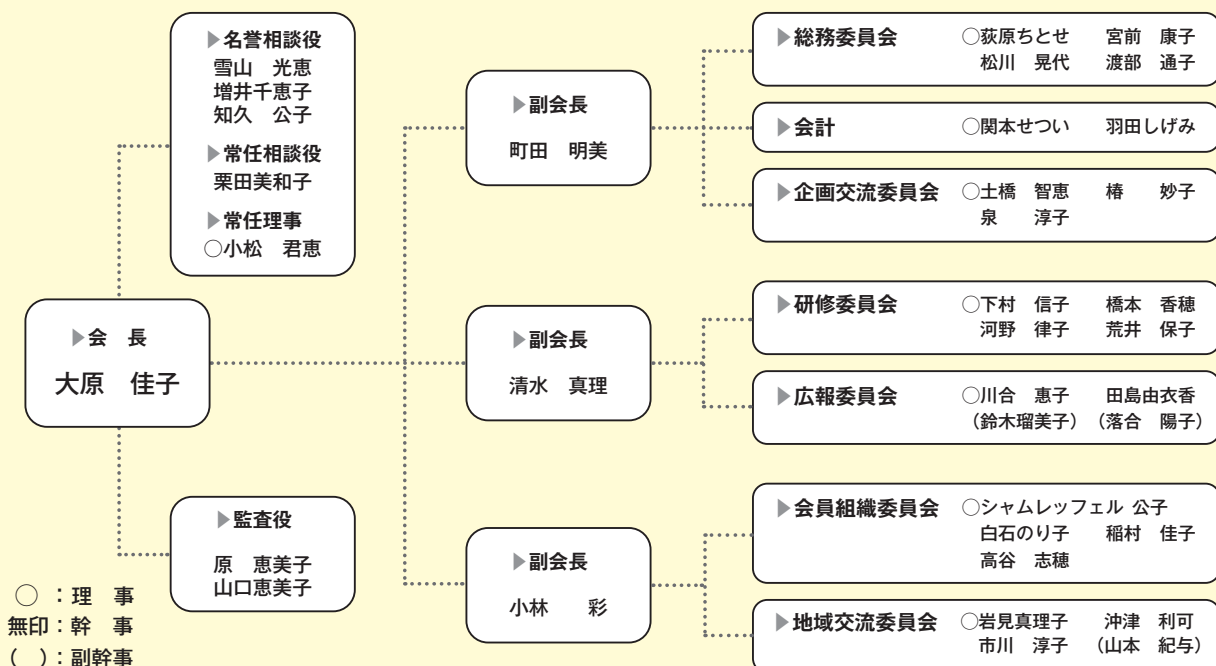
業種 受信同行し分かりやすい言葉で伝える病状に沿ったアドバイス

渡辺 成子

有限会社 埼玉ヘルパー 取締役社長

業種 葬儀請負業 葬祭トータルサポート

令和7年度役員組織図



今年度の出来事 | 2024.4～2025.3

2024

- 4 月
 - 米 OpenAI 社が東京に日本法人を設立し、アジア初進出
 - 南海トラフ想定震源域である大分県と愛媛県境の豊後水道を震源とする M6.6 の地震が発生
- 5 月
 - トヨタ自動車が 2023 年度決算で日本の上場企業で初めて営業利益 5 兆円を突破
 - ソウルで日中韓首脳会談が 4 年半ぶりに開催
- 6 月
 - 日経平均株価が 4 万 2000 円を突破し、史上最高値を更新
 - 初の女性検事総長として畝本直美氏が就任
- 7 月
 - 日本銀行が 20 年ぶりに新紙幣を発行
 - 東京都知事選で小池百合子氏が 3 選
- 8 月
 - 日本代表がパリオリンピックで金メダル 20 個を含む計 45 個のメダルを獲得し、海外開催の五輪では過去最多獲得を達成
 - 岸田文雄首相が退陣を表明
- 9 月
 - パリで初となるパラリンピックが開幕し、日本人選手が過去最多の 175 人出場
 - アニメ「ドラえもん」のドラえもんの声を 26 年間演じた声優の大山のぶ代さんが 9 月 29 日に死去
 - 大谷翔平選手が属するドジャースがワールドシリーズ 4 年ぶり 8 度目の制覇
- 10 月
 - 石破茂氏が第 102 代内閣総理大臣に任命され、第

1 次石破内閣が発足

- 日経平均株価が「ブラックマンデー」の下落幅を上回る暴落を記録

- 11 月
 - 石破茂氏が第 103 代内閣総理大臣に再任され、第 2 次石破内閣が発足
 - 兵庫県知事選で現職の斎藤元彦氏が再選
 - 株式会社ランクアップ代表取締役・岩崎裕美子氏が東京女性経営者アワードを受賞
- 12 月
 - 麴を使う伝統的酒造りがユネスコの世界無形文化遺産に登録
 - 俳優・歌手の中山美穂さんが 54 歳で死去

2025

- 1 月
 - 共和党のドナルド・トランプ氏が米国大統領として 4 年ぶりに再任
 - 日銀が政策金利を 0.25% から 0.5% へ引き上げ
- 2 月
 - ソフトバンクグループと米 OpenAI が合弁会社を設立し、日本で企業向けの AI サービスを提供開始
 - 米タイム誌が選出した「今年の女性」に、米ドラマ「SHOGUN 将軍」に主演したアンナ・サワイさんが選出
- 3 月
 - 日本銀行は約 12 年間続いたマイナス金利政策を終了し、主要政策金利をゼロに戻した
 - トランプ政権が海外から輸入する鉄鋼・アルミニウムに対し 25% の追加関税を発動

編集後記

採用試験の面接をする際に、「学生時代、夏休みの宿題はいつやっていましたか？」という質問をたまにすることがあります。生活していくうえで、やるべきことを、最初にしつかりと取り組むのか。途中だけど締め切りは守るのか。最後に泣きながらやるのか。などが見えてくるのかなと思ひながら話を聞いています。今まで回答の中で一番のつわものは、「夏休みが始まる前に、終わらせられる部分は、終わらせています」。一種の感動を覚えました。

もちろん私の回答は、「直前に泣きながら取り組んでいた」。この私の性格？習慣？のために、業務の上でも、毎日大変多くの方にご迷惑をおかけし、助けられています。本当にありがとうございます。また、大変申し訳ありません。一日も早く、先手で物事に取り組み、「宿題は、夏休みが始まる前に終わらせています」と、堂々と言えるよう精進してまいります。

今年度のテーマは“ロケットスタート”にします。(相木)

■広報委員会…川合、田島、鈴木、落合、石川、伊藤、久賀、相木（敬称略）

【埼玉県連携窓口】 埼玉県産業労働部産業支援課 担当 長谷川

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 TEL 048-830-3903 FAX 048-830-4813

発行者 サイタマ・レディース経営者クラブ

会長 大原佳子 ● 連絡担当課 埼玉県産業労働部産業支援課 電話 048-830-3903 ● 印刷 関東図書株式会社 電話 048-862-2901